



矢野 邦夫 先生

浜松医療センター

院長補佐 兼 感染症内科長 兼 臨床研修管理室長 兼 衛生管理室長

'81年 名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、名古屋大学病院を経て、'89年 フレッドハッチンソン癌研究所、'93年 県西部浜松医療センター（2011年4月より「浜松医療センター」に病院名変更）、'96年 ワシントン州立大学感染症科エイズ臨床、エイズトレーニングセンター臨床研修修了。'97年 感染症内科長／衛生管理室長に就任。2011年4月より現職。

ホームページでも、公開しています。

メディコン CDCWatch

検索

View

長期介護の高度看護施設におけるCOVID-19の流行

長期介護の高度看護施設（註釈）のような特殊な環境では、無症候または発症前のCOVID-19患者がウイルスを伝播し、アウトブレイクを引き起こすことがある。興味深い事例がMMWR（週報）に提示されていたので紹介する（1）。

■事例

2020年3月1日、ワシントン州キング郡の長期介護の高度看護施設の医療従事者においてSARS-CoV-2（COVID-19の原因ウイルス）の検査結果が陽性となった。3月6日までに、この施設の7人の居住者に症状がみられ、SARS-CoV-2の検査結果が陽性となった。3月13日、CDCは82人の居住者のうち76人（93%）を評価した。検査陽性となった居住者23人（30%）のうち、10人（43%）は検査当日に症状がみられたが、13人（57%）は無症状であった。その7日後、無症状であった13人の居住者のうち10人に症状がみられた。RT-PCRでは、無症候、発症前、および有症状の居住者において大量のウイルスRNAが示された。この事実は、COVID-19は症状に関係なく感染性がある可能性を示唆している。症状に基づくスクリーニングでは、COVID-19に罹患した居住者の約半分を特定できなかった。

■長期介護の高度看護施設の特殊性

長期介護の高度看護施設は、生活支援施設や自立生活介護施設と比較して、感染予防と制御に関して問題がある。このような施設の居住者は個々のアパートではなく共有ルームに滞在していることがある。また、居住者と医療従事者の間には、長期にわたる密接な接触がみられることが多い。介護施設の医療従事者は、個人防護具を適切に使用する経験が不足していることがある。さらに、神経疾患の高齢者（認知症を含む）では、症状を確認したり、部屋の隔離をすることは非常に困難である。COVID-19の症状は非特異的であり、高度看護施設の居住者のような集団は複数の病気を持っていることがある。

■長期介護の高度看護施設のCOVID-19感染対策

SARS-CoV-2に感染しているにも拘わらず、それが認識されていない無症候および発症前の患者は、このような状況において感染源となる可能性がある。そのため、SARS-CoV-2が施設内に入り込むことを防ぐために、すべての長期介護施設は積極的な措置を講じなければならない。これには「面会者を制限する(思いやりのあるケア状況以外)」「施設にとって重要でない人が建物に入ることを制限する」「発熱やその他の症状について自分自身を監視しているかをスタッフに尋ねる」「シフトの開始時にすべてのスタッフを発熱やその他の症状についてスクリーニングする」「スタッフの病気休暇(軽度の症状を含む)をサポートする」などがある。

■施設内でCOVID-19患者が確認されたあとの感染対策

施設においてCOVID-19患者が確認されたら、「居住者間の相互接触を制限する」「施設内のすべての医療従事者はフェイスマスクを普遍的に使用する」「可能であれば、すべての居住者の介護のときには個人防護具(ガウン、手袋、眼の保護、N95マスク、または、利用できない場合はフェイスマスク)を着用する」を実施する。個人防護具の供給が限られている状況では、その使用期間を延長したり、限定した再利用とする戦略を行う。

■結論

SARS-CoV-2が長期介護の高度看護施設に入り込むと、急速に伝播してゆく。実際、米国ワシントン州において、医療従事者がCOVID-19であることが特定されたため、施設内の82人の居住者のうち76人にSARS-CoV-2について検査したところ、23人(30%)が陽性結果となった。そして、その半数が検査当日は無症候または発症前であった。すなわち、無症候および発症前の居住者がSARS-CoV-2の伝播に関与している可能性がある。居住者の症状に基づくスクリーニングでは、すべてのSARS-CoV-2感染を特定できないので、COVID-19患者を施設内で確認したら、個人防護具を着用して、すべての居住者をケアする必要がある。

[註釈]

ナーシングホームは、日本の老人ホームと老人病院を合わせたような医療施設であり、大別すると、専門的看護をする「高度看護施設 (skilled nursing facilities)」と濃厚な看護サービスをしない「中間ケア施設 (intermediate care facilities)」がある。高度看護施設は連邦Medicare基準に従って、州毎に免許を与えられて認定されており、一般的に、65歳以上や若年の障害者に幅広い健康関連サービスを提供している。そこでは医師や看護師が常駐しており、リハビリ・サービスや特殊なケアが日常的に継続して提供される。

- [文献] (1) Kimball A, et al. Asymptomatic and presymptomatic SARS-CoV-2 infections in residents of a long-term care skilled nursing facility — King County, Washington, March 2020
<https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/69/wr/pdfs/mm6913e1-H.pdf>

こちらも公開しています。

メディコン CDCガイドライン 検索 

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

crbard.jp

BD, the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. © 2020 BD. All rights reserved.

